

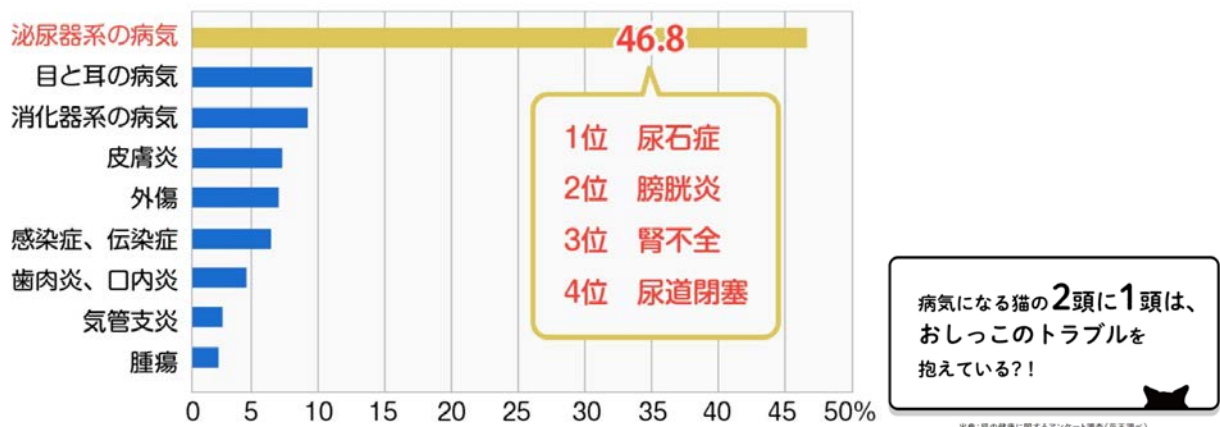
自分の愛猫は健康だと思っている人が9割。
猫の体調変化にいち早く気づくために。
猫の命を守るプロジェクト「おしっこチェックでSaveCats」を開始



花王株式会社パーソナルヘルス事業部ペットケアは、2020年2月22日より、猫の「おしっこチェック」の習慣化を目指すプロジェクト「おしっこチェックでSaveCats～猫の命を守るプロジェクト～」を開始します。

病気を隠すことが上手と言われる猫の体調変化にいち早く気づく方法として、普段からの「おしっこチェック」を推奨し、気になることがあったらすぐに病院にご相談することを提唱する活動です。

一般的に猫は泌尿器関連の疾病にかかりやすく、花王の調査によると、病気になった猫のうち、約半数(46.8%)が腎臓病や尿石症といった泌尿器系の疾患でした。



猫の祖先は、砂漠で暮らしていたため、乾燥した環境でも水分を無駄なく利用して、濃縮された濃いおしっこをします。その分、腎臓への負担が大きく、機能障害を起こしやすくなります。また、おしっこ中のミネラルが結晶化して尿石もできやすくなります。これが猫に泌尿器系の病気が多い原因です。

(参考ページ <https://www.kao.co.jp/cat-health/report/01/>)

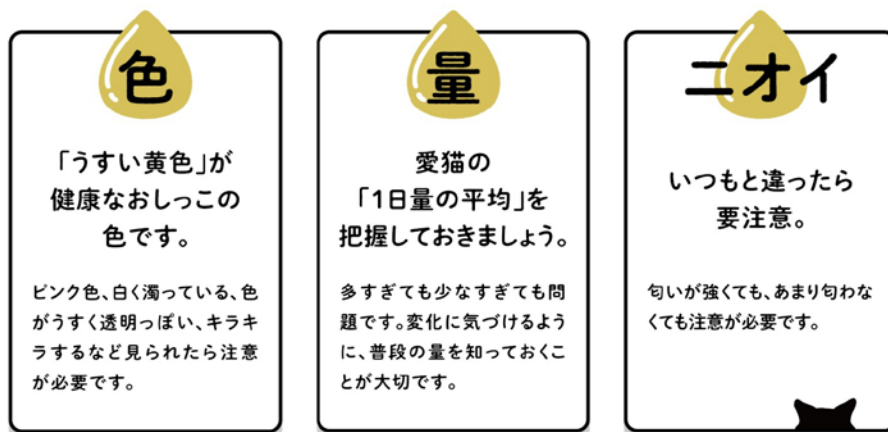
一方で、猫は病気を隠すのが上手な動物で、9割のオーナーが自分の愛猫は健康だと思っています。その理由として、「具合が悪そうに見えない」「普段と変わったことがない」と7割の方が回答しており、多くが見た目で体調を判断してしまっているのが実態です。(花王調べ) 具合が悪くなってから病院に連れて行き、重症化してしまっているケースも少なくありません。

そこで、見た目だけでは判断しにくい猫の体調変化にいち早く気づけるように、猫のおしっこの色、量、ニオイ、回数といったものを普段から気にかけるようにすることを提案します。そして、少しでも変化に気づいたら病院に相談できるように広めていく活動を推進してまいります。

おしっこチェックをしてみましょう

昨日と違うところはないか、先週と違うところはないか、変化に気づいてあげましょう。

まずは月に1回から始めてみませんか？



変化に気づいたら、すぐ病院に相談しましょう※

※変化がなくても半年に1度は動物病院での検査がおすすめです。

猫ちゃんを病院に連れていくのが大変！

そんな方には、自宅で採尿する方法もあります。

① おしっこを液体で溜める

② 密封容器※に入れる

③ 動物病院へ持って行く

※しょうゆ差しなどの密封容器をご利用ください。
新品のものをご利用ください。
一度使用したものと、成分に影響が出る可能性があります。

「おしっこチェックでSaveCats」プロジェクトでは、愛猫の健康と長寿を願う飼い主様、そして、この活動にご賛同いただいているパートナー企業様・団体様とともに多くの猫ちゃんたちが元気で幸せに、長生きできるようお手伝いしていきます。

■「おしっこチェックでSaveCats」プロジェクトの開始に伴い、公式サイトをオープン。

(2020年2月21日13:00より公開)

<https://www.kao.co.jp/savecats/index.html>